



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク

2570地区ガバナー 相原 茂吉

第3グループ
ガバナー補佐 西澤 長次

Let's make fellows! 友達をつくろう

第2948例会 2021. 2. 17

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 57-34)

会長 田辺 實 幹事 森 健二

例会日 水曜日 (12:30~13:30)

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

《臨時休会》

【会長報告】

皆さん、こんにちは。緊急事態宣言が3/7まで延長されました。飯能RCは前回3/3(水)よりの例会再開をご案内しておりましたが、緊急書面理事会を開催し今後の例会運営に関して協議を行いました。その結果3/17(水)より例会を再開する事が決定致しましたので、会員の皆様に別途ご通知申し上げます。再三にわたる変更で皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。現状、飯能、日高地区においては感染者が急増し大変心配している所です。会員の皆様におかれましては十分自己管理をされ予防して頂きたいと存じます。

「本来空寂(ほんらいくうじゃく)」

人はなにも持たずに一人で生まれ、なにも携えず一人で死んでいく。生まれいずる処(ところ)も、帰っていく処も、空寂の世界、すなわち、仏国土である。

人生のいちばんの悲しみは、両親をはじめ、配偶者、わが子、きょうだいなど親しい人の死でしょう。配偶者が亡くなり、その悲しみのあまり、ご遺骨を埋葬できず、ずっとそばに置いているという人もいます。

それが悲しみを癒やしてくれるかといったら、わたしは逆だと思えます。悲しみはむしろ増幅するのではないのでしょうか。

元に戻るとは空寂の世界、仏国土です。

弘法大師空海のこんな歌があります。

「阿字の子が 阿字のふるさと 立ち出でて また立ち帰る 阿字のふるさと」

「阿字の子」がわたしたち人間のことであり、「阿字のふるさと」はそこから生まれ、また、そこに立ち帰る仏国土であることは、いうまでもないでしょう。

仏国土とはご先祖様たちが、仏様の教えに導かれて心穏やかに過ごされているところ。死者はそこに帰っていくのです。

この世でいただいた命は仏様からお預かりしたものと考えます。預かりものですから、この世でその命をまっとうしたら、また、仏様にお返しするのは至極当然のことですし、人はその“使命”を果たすために

生きているのだ、という言い方ができるかもしれません。現世(この世)での暮らし(生)は“仮の姿”なのです。どれほど財を成そうが、名誉を手に入れようがそれは仮の姿ですから、仏国土にはなにひとつ持つていくことはできません。もちろん、努力を重ねて財を成し、研鑽を積んで名誉を手中にする、ということはずばらしいことですが、仏国土にはそれらを一切合切手放して趣くのです。死は仏様に命をお返しするという使命を果たすことにほかなりません。遺されたものにとって、それはいつまでも悲しむべきことでしょうか？

故人にはこう伝えるのがもっともふさわしいのではないかと。「立派に使命を果たされましたね。お疲れさまでした。わたしも一生懸命生きて、いつの日かあちらでお会いします」

そして、折に触れて故人のよき言葉やふるまいを思い出して、自分を律していく。それが遺徳を継ぐということです。死は生あるものの必然です。誰もが等しく仏国土に行く。そのことを心得ていたら、いたずらに悲しむことはなくなるのです。

【幹事報告】

①2/10緊急書面理事会。「緊急事態宣言」が3/7まで1か月延長された事により例会再開について協議を行い3/17より再開する事と決定。会員皆様にご通知致します。②3/4のプログラムが変更。4/7(水)新入会員入会式および卓話は飯能市長・大久保勝様です。③例会時の会食を状況により中止し、テイクアウト(持帰り)にする事になります。

④他クラブ例会変更等

【ロータリー情報】

ロータリー財団 (その2)

(The Rotary Foundation: TRF)

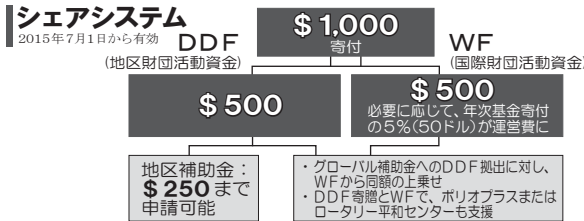
■ シェアシステム (Share System)

財団プログラムに参加することは、財団の成功の重要な一翼を担うことです。管理委員会は、寄付の

使途について地区に発言権を与え、地区が最大限プログラムに参加できるように、資金配分のためのシェアシステムを開発しました。

すべての地区の年次基金シェアへの寄付は、DDF (地区財団活動資金)とWF (国際財団活動資金)の二つの活動資金に分けられます。その配分は、DDFが50%、WFが50%(内5%は運営費)です。ある年度に寄せられた寄付金は、その3年後に使用が可能になります。地区は、DDFを地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和センター、ポリオプラスへの寄贈に使用できます。WFは、地区が参加できる補助金やプログラムの資金として支給されます。残りの5%は、財団の運営費を賄うために使用されます。

- ・ **地区財団活動資金 (DDF: District Designated Fund)**
……地区が使途決定、管理する補助金
- ・ **国際財団活動資金 (WF: World Fund)**
……ロータリー財団管理委員会が使途決定、管理する補助金



・この図には、恒久基金(シェア)の使用可能な収益から発生したDDFは含まれていない。
・未使用のDDFは次年度に繰り越される。
・必要な場合のみ(十分な投資収益がない場合)、年次基金寄付の5%がWFから運営費に充てられる。

■ロータリー財団への寄付と認証

ロータリーは、ガバナーが、地区ロータリー財団委員会、地区研修・協議会、地区とクラブの財団セミナー、クラブ訪問などの正規の経路を通じて、ロータリアンとクラブによるロータリー財団への年次寄付の重要性を強調するよう提案しています。財団補助金の継続的な発展を支援するために、毎年、ロータリー財団の年次基金に寄付することがすべてのロータリアンに奨励されています。ロータリアンはまた、遺言や資産計画に、恒久基金への贈与の旨を記載することを考慮するよう奨励されています。

金額を問わず、次の三つ(五つ)の基金に寄付することができます。

1. **年次基金**は、財団の補助金と活動の主な資金源です。寄付金は、寄付の約3年後に使われます。
2. **恒久基金**は、その収益の使用可能な部分を財団の補助金と活動の支援に使うための基金です。恒久基金の目標は、最低限度の補助金活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にしようとするものです。
3. **ポリオプラス基金・その他指定プロジェクト基金**は、ポリオプラス・プログラムと、ポリオを世界から根絶するという目標の支援のために授与されます。

4. **チャレンジ・ギフト (Challenge Gift)**

年次寄付、恒久基金寄付、使途指定寄付どれも共通するのがチャレンジ・ギフトです。

5. **メモリアル・コントリビューション (Memorial Contribution)**

金額には関係なく、亡くなった人を記念して寄付した個人またはクラブのことでです。

寄付と認証 (Contribution and Recognition)

財団の使命とプログラムへの寄付に対しては、寄付者に分かりやすい形で、その寄付に感謝します。それが認証です。寄付者とすぐ分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈ります。

1. **「財団の友」会員 (Rotary Foundation Sustaining Member)**
「財団の友」会員は、年次基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。
2. **ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris Fellow: PHF)**
ロータリー財団の年次基金、ポリオプラス基金、グローバル補助金への拠出分として1,000ドル以上寄付した人。対象は個人だけです。
3. **マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (Multiple Paul Harris Fellow: PHF+1 ~ PHF+8)**
ポール・ハリス・フェロー後、1,000ドル寄付すると同時にマルチプル・ポール・ハリス・フェローになります。

4. ベネファクター (Benefactor)

恒久基金への寄付または誓約額1,000ドル以上の個人に贈られる認証です。

5. メジャードナー (Major Donor: MD)

累積寄付の合計1万ドル以上で認証が個人またはご夫妻に対して贈られます。

6. 遺贈友の会 (Bequest Society)

遺産計画を通じて1万ドル相当以上の寄付を誓約した個人または夫妻が「遺贈友の会」会員となります。

7. レガシーソサエティ (Legacy Society)

恒久基金に合計で100万ドルの誓約を行った個人または夫妻が会員となります。

8. アーチ・クランフ・ソサエティ (Arch C. Klumph Society)

累積寄付の合計25万ドル以上で認証が個人またはご夫妻および団体/法人(10万ドル以上)に対して認証が贈られます。

■ロータリーカード (Rotary Card)

2000年9月にRIは、クレジットカード・プログラムを開始しました。世界全体で、2000年以降のロイヤリティは総額約700万ドルに上ります。うち200万ドルはポリオ根絶のために使われています。

ロータリーカードは、現在ダイナースクラブとオリコカードがあり、それぞれの特典については両社へお問い合わせ下さい。

■ポリオプラス

「あと少し」となったポリオ根絶 —— ロータリーの最優先課題「ポリオ」という病気

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともありこれによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが安全なワクチンで予防が可能です。

ロータリーとポリオ根絶活動

1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきた。活動開始時には125カ国に35万人以上の感染が確認されていたが、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)におけるパートナー組織との協力を1988年に開始しました。ポリオの根絶は、長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。パートナー団体とともに、私たちは122カ国、世界25億人以上の子どもにポリオ予防接種を行ってきました。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。私たちは目標を実現するまで決してあきらめません。ポリオを根絶するには※野生型ウイルスによるポリオ発症が起きている3カ国(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)でウイルス感染を断ち切る必要があります。また、既に「ポリオフリー」となった国にウイルスが流入しないようにしなければなりません。ウイルス流入のリスクが高い国々(最高60カ国)では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。

なぜポリオを根絶するのか?

世界からポリオを根絶しない限り、今後10年以内に世界での年間発症数は20万件に上ると予想されています。ポリオの常在国はわずか3カ国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子どもに及ぶことになります。

なぜ資金が必要なのか

~ポリオが今も残る国は3カ国だけなのに、なぜ15億ドルも必要?~

ポリオを根絶するには(※同上) すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで活動をやるわけにはいきません。

2017年アトランタ(米国)で開かれたロータリー国際大会では、ロータリーをはじめ、寄付国や寄付団体がポリオ根絶に12億ドルを寄付することを約束し、取り組みにさらなる拍車がかかると期待されています。ロータリーは、3年間で1億5,000万ドルを約束しました。ビル&メリнда・ゲイツ財団とのマッチングと合わせると3年間で4億5,000万ドルとなります。